



# ふるさと笠松の「ちょっといい話」



## 「ほめられたことで、自信が持てる子に成長した！」



笠松町内のD保育所の2歳児(もうすぐ3歳)の様子についてお話しします。(所長さんから聞き取りました。)

この子は最近になって、だれとでも「あいさつ」ができるようになりました。例えば、登園の途中でいつも出会う旗を持ったボランティアのおじさんや、保育所の所長さんをはじめ、保育士さんなどに進んであいさつができるようになりました。今までは「メソメソ」することが多かったのですが、近頃は保育園でもリーダー的な存在になってきました。どうしてそんなふうになったのか理由を考えると、次の2つが考えられました。

- ① お母さんのお腹に赤ちゃんができたこと
- ② まわりのみんなからほめられたこと

どちらの理由が大きく作用したのかはわかりません。しかし、この子はかわりました。皆さんも是非、誉めることを意図的に実践してみましょ。子どもはかわる存在だと

信じて、誉めることに取り組みたいですね。もちろんお世辞ではなく、本当によいところを見つけて誉めましょ。子どもはすぐにお世辞は見抜いてしまいますから。

## 「英国紳士＝ジェントルマンの思いやり」

あなたはもしも、道ばたに倒れている人をみかけたらどうするでしょうか？一番近い番号を選んでみましょ。

- 1 すぐに駆け寄って助ける。
- 2 とりあえず、遠くから様子を見る。
- 3 関わりたくないので、無視する。
- 4 近くの人にとりあえず対応を頼む。

←あなたの答  
番



さて、あなたの対応は、英国紳士＝ジェントルマンのとる対応と同じでしょうか？

英国紳士は次のような対応をとるそうです。

○倒れている人へ誰かが、話しかけたり様子を見たりして対応しているなら、それ以上は関わらない。困っていないようならそのまま立ち去る。どうしてかというと、野次馬のようにまわりで見ていると、倒れている人も対応している人もきっと迷惑するから。

もし、自分が倒れている人なら、「さらし者」にならないようにそっとしておいて欲しいと思うから。もちろん、まわりに誰もいなかったり、対応している人が困っているようなら、積極的に手助けすることは言うまでもありません。

私たち日本人は、どうしても野次馬になってしまうことが多いようです。ジェントルマンの資質を身に付けるためには、「常に相手の立場になって、考えることができるようになる。」ことがポイントの一つです。

## ●心あたたまるいい話●それは★意外な話★ピンチに天使が舞い降りた話

「恩送り」・・・人から受けた恩を、ほかの人に順に送っていくという意味

ある時、コンビニでお金を払おうとして財布を落としたことに気がつきました。びっくりして歩いてきた道を探しましたが、どこにも財布はありません。そこで、近くの交番に財布が届いていないか尋ねました。しかし、残念なことに届けられていませんでした。警察官は他の交番に届いているかもしれないので調べておくと伝えてくれました。

数日後に交番から、財布が警察署に届いているので、取りに行くようにという連絡がありました。警察署に行くと確かに自分の財布が届けられていました。拾ってくれた人にお礼を言いたくて、「あなたが拾ってくださったのでしょうか？」と聞きましたが、「名前は分からない。名前を言わずに『当たり前のことをしたただけだから。』と言って帰ってしまった。」ということです。びっくりするとともに、もし、財布を拾うようなことがあったら、自分も同じようにしたいと強く思いました。